

地域ケア推進会議 報告書

【医療・介護連携に関する場合のみ】

提出日	2023年1月24日
作成 高齢者支援センター	鶴川第1
作成者	高野 由美子

1.開催日時	2023年1月13日	(金)	19:30	～	21:00
2.会場	リモート開催				
3.主催センター	鶴川2	・	鶴川1	・	
4.参加人数	30名				
5.参加者内訳	<input checked="" type="checkbox"/> 高齢者支援センター 8人		<input checked="" type="checkbox"/> 医療と介護の連携支援センター 1人		
	<input checked="" type="checkbox"/> 医療関係者 1人 (うち、医師 1人)		<input checked="" type="checkbox"/> 介護事業者 12人		
	<input type="checkbox"/> 民生委員 人		<input type="checkbox"/> 老人会 人		<input type="checkbox"/> 住民 人
	<input type="checkbox"/> 町内会自治会 人		<input type="checkbox"/> 警察 人		<input checked="" type="checkbox"/> 行政 3人
	<input checked="" type="checkbox"/> その他 (薬局4、スズケン1)				
6.開催テーマ	「コロナに負けない町、つるかわ」を目指して～オーラルフレイルを考える～				
7.地域課題	<p>(1)課題設定の背景</p> <p>コロナ禍で、フレイル状態の高齢者が増えてきているが、オーラルフレイル(口腔機能の低下)については、まだ認知度が低く、医療・介護の専門職もその重要性を十分理解できていない。</p> <p>(2)検討した地域課題</p> <p>オーラルフレイルの早期発見には、口腔機能検診が有効だが、受診率を上げるには医療介護の専門家が、地域の人達にどう伝え、どこにつなぐか、どんなツールが必要か？</p>				
8.会議の内容	<p>昨年11月25日開催の圏域合同地域ケア推進会議の内容を振り返り、高齢者のオーラルフレイル予防のため何が出来るか、検討した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民にオーラルフレイルとは何か、また危険性を知ってもらうために、どのようなツールを利用し周知したらよいか。 ・高齢者歯科口腔機能健診の重要性を、地域住民に周知して、受診率向上に繋げる必要がある。医療・介護専門職が、業務の中でどのように働きかけたらいいのか、方法、手段の検討を行った。 				
9.課題に対する対応策・今後の地域での展開	<ul style="list-style-type: none"> ・町田市保健予防課から高齢者歯科口腔機能健診のチラシとロトレリーフレットの提供、各事業所から地域住民に配布、説明を行い、コロナ禍で低下傾向にある受診率の向上を図り、オーラルフレイルの重要性を啓発する。 ・地域ケア会議に参加できなかった専門職に対して、限定で動画配信するとともに、レッツケア会議の発行で周知を図る。 ・昨年度から継続して実施しているフレイル予防リーフレット・栄養向上レシピは継続し、普及に務める。 ・2月に行われる市民向け町プロで、鶴川圏域の取り組みを紹介する。 				

医療と介護の連携支援センター 確認日	1月23日
--------------------	-------